

トマト育苗の記録と情報誌

第2号

編集

トマト生産部

2025.05.31



秩父別町のトマトジュースは、朝もぎの完熟したトマトで、作られています。一口飲むとトマトを丸かじりしたような、自然な美味しさが口の中いっぱいに広がります。完熟トマトのあの美味しさを、ぜひご賞味ください。

はじめに

ハウスの周りの雪も解け、ハウスの中はトマトの苗が元気に育っています。

白い発泡スチロールの中に緑苗と黒いチューブは、点滴チューブで、トマトに水分や栄養を送る大切な役目をしています。

私たちスタッフは、毎日これらの管理を行いながら、トマトを育てて行きます。

トマトは、細いチューブで管理し、私たちスタッフが、太いパイプで繋がり、情報を共有しながらトマトを、育てて行きます。

赤くておいしいトマトを作り、美味しいトマトジュースかできるまで、応援お願いします。

前回の続きのハウスが出来るまでと、土入れと並べる様子を紹介しますので、お読み願います。



編集 てるりん



てるりんのプチっとトマト情報 栽培ハウスの続き

4月11日

前回からの続きで、ビニールが3棟にかけられました。この日は、とても天気良くテント内の作業とても暑かったと思われます。

トマトの苗が設置されましたら、私たちも連日暑い作業が続く思います。

4月16日

私たちは、町内の育苗センターに行ってきました。この後私たちが育てる苗の見学です。

苗は、15cmくらいに元気に育っていました。隣の葉と葉がぶつかるようになったので、それぞれの間隔を広げるようでした。日の当たりれが悪くなるため、成長しやすくする処置と言っていました。



トマトマメ知識

トマトの赤はリコピンの赤

トマトは美肌効果のあるビタミンC、老化を抑制するビタミンEが豊富で、ミネラルや食物繊維などをバランスよく含んでいます。さらに特筆すべきなのが、赤色の色素成分で抗酸化作用があるリコピン（リコペン）が豊富なこと。リコピンは熱に強く、脂溶性なので、油を使って加熱調理することで摂取効率が高まります。トマトは他の野菜に比べて一度にたくさん食べられるため、栄養を摂取しやすいのも魅力。ヨーロッパでは「トマトが赤くなると医者が青くなる」ということわざがあるほど、健康によい野菜なのです。

秩父別のトマトジュースを飲むと病院に行かないで済むかもしれませんね（笑）（健康のために、病院には定期的に行きましょう!!）

4月14日

ハウスの中は、防草シートが全面に貼られ、除草の手間が無くなります。



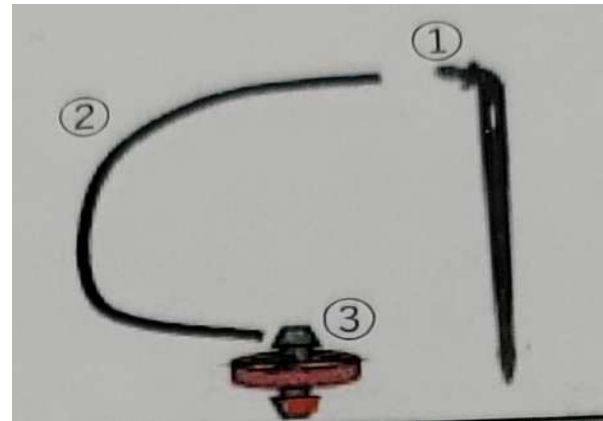
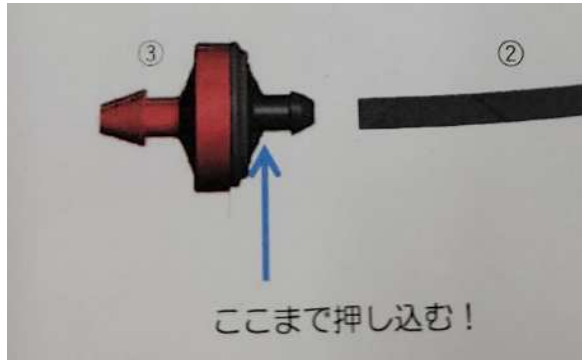
「キッズスクエア ちっくる」は、季節や天候に左右されることなく、子供たちが安全に元気いっぱいに遊べる健やかワクワク成長空間です。床面積600㎡の広々空間に設置された立体的に遊べる大型遊具ネットをはじめウォールクライミングやチューブスライダー等、さらに幼児専用コーナーを備え、その年齢に合わせた「遊び」を楽しむことができます。



4月17日

今日は、今後のトマト育成のやり方の説明会が行われました。ホクレンと、空知農業改良普及センター北空知支所から、職員の方が来られました。今まで、ある程度のことは聞いていましたが、詳しいことは、何一つ知りませんでした。

数日前に育苗で使う部品が来ていましたので作り方を教えてもらいました。



この部品を2千組作りました。

とても固いホースのため、先を熱湯に入れて柔らかい状態にして、接続させていきます。

この部品を2千組作りました。この部品に圧力をくわえ、水と肥料を液状にして苗に補給していきます。とても、指先が痛くなる作業で数日かかりました。

4月18日

朝職場に行くと、苗を入れる発泡スチロールの箱が2千個大型トラックで届いていました。ハウスの横にトラックを停めてもらい、ドライバーさんと二人で、下ろしました。軽いですが量が多かったため疲れしました。



この日には、他にも給水用のメインホースも届きました。

苗箱の横に設置し、点滴ホースにつないで、各苗に刺して水と液肥を補給します。

5月1日

土入れと、箱並べの様子です。

役場職員の数名と、振興公社職員で、協力して、行いました。



苗の移植は5月8日に行われました。報告は次回3号での報告になります。

4月25日

今日は、9時からハウスの引継ぎが行われました。また、空調設備の操作説明が行われました。

設定は、ある程度行ってくれましたので、やり方を覚えることが出来ました。

4月28日

今日は、発泡スチロールの箱を置く場所を作りました。

ハウス1棟に3列の発泡スチロールの箱を並べます。垂木を二列に引いてその上に箱を並べます。

垂木の上にビニールを引いて、箱の中の余分な水を受けれるようにしています。ビニールが、風で飛ばないように、ホチキスで止めました。

この後、土を入れた箱を並べ、土を保温してから、苗を植えます。

この後土入れと箱並べの作業になります。

町職員と、トマトスタッフで5月1日に行います。



4月30日

5月1日に箱に土を入れ並べるように、垂木に数字を記載し、設置しやすいように準備をしました。

外には、3千リッターの水用タンクを用意してあります。



最後まで読んでいただき、ありがとうございます。次回第3号の発行は、6月30日を予定しています。

